

今井祝雄ー長い未来をひきつれて

## 出品リスト

出品 no. / タイトル / 制作年 / 技法・材質 / サイズ (縦×横×奥行) / 初出展歴 / 所蔵  
\*所蔵表記のないものは作家蔵

## I ここからここへ：現在

1  
《瀑布ービデオの時代》  
2024年  
ビデオテープ、映像、カセットケース  
サイズ可変  
本展初公開

2  
《音声の庭で》  
2023年  
カセットテープ、アクリル板  
各 25.0×25.0×6.0 cm \*12点1組  
個展「今井祝雄の音」(アートコートギャラリー  
／大阪、2023.5) \* 出品作を再構成

3  
《ことのはディスタンス／2021》  
2021年  
活字版、「唇拓」、アクリル板  
75.5×105.7 cm  
「文字模似言葉」(ボーダレス・アートミュージ  
アム NO-MA／滋賀、2021.2)  
関連イベントのパフォーマンスより (酒遊館／  
滋賀、2021.2.13)  
\* 美術家・林葵衣とのコラボレーション

4  
《おとのはディスタンス／2021》  
2021年  
活字版、インスタント写真、アクリル板  
75.5×105.7 cm  
個展「踊る心、考える耳」(+ 1 art／大阪、  
2021.3)  
関連イベントのパフォーマンスより (高津宮  
／大阪、2021.3.20)  
\* チェリスト・中川裕貴とのコラボレーション

5  
《おとだま》  
2020-2021年  
オーディオテープ (リール 108 巻)  
本体：直径 25.0cm、台座：40.6×40.6×16.8cm  
個展「おとだま」(+ 1 art／大阪、2022.3)

6  
《回るケルン》  
2017年  
SP レコード盤の破片、ターンテーブル  
36.0×45.0×35.5 cm  
個展「音のケルン」(+ 1 art／大阪、2017.11)

7  
《デイリーポートレート》  
1979年ー  
インスタント写真、アクリルケース  
A：11.0×11.8×24.1 cm 36 個  
B：10.7×11.9×35.0 cm 10 個  
「イメージのルーツ〈物体〉2」(ギャラリー・ウエ  
ストベス／愛知、1979.7)

## II ときのまにまに：1970-80年代

8  
《Two Heartbeats of Mine》  
1976年  
心臓音 (1975/1976)、スピーカー  
スピーカー：20.6×18.2 cm (直径×厚み)  
個展「日本の現代作家展ーデュシャンを透して・・・」  
(ギャラリー・ペテ／大阪、1976.11)

9  
《Two Heartbeats of Mine(1967年)のための  
ポートレート／私だけの》  
1976年  
アクリルミラー、ガラスにスクリーンプリント  
40.9×31.9 cm  
個展「日本の現代作家展ーデュシャンを透して・・・」  
(ギャラリー・ペテ／大阪、1976.11)

10  
《八分の六拍子ーpart 1》  
1976年  
メトロノーム音、心臓音 (1976)、スピーカー  
「第9回現代の造形〈映像表現'76〉」(KBS レーザリ  
アムセンター／京都、1976.10)

11  
《八分の六拍子ーpart 2》  
1976年  
ゼラチンシルバー・プリント  
写真：各 24.0×30.0cm \*34点1組  
スコア：9.7×13.3 cm  
個展「八分の六拍子 part2」(アート・コア・ギャ  
ラリー／京都、1976.10)

12  
《観る人ー八分の六拍子》  
1976 / 2023年  
ゼラチンシルバー・プリント  
各 43.0×32.2 cm \*4点1組  
本展初公開

13  
《The Party》  
1975年  
記録写真、DM+心電図ほか  
額作品：44.0×61.8 cm  
「The Party」(ギャラリー16／京都、1975.7)

14  
《この偶然の共同行為を一つの事件として…………》  
1972年  
記録写真、DM、メモ等  
「この偶然の共同行為を一つの事件として…………」  
(喫茶店コンドル／大阪、1972.7)

15  
《タイムコレクション》  
1981年  
CBプリント  
各 18.3×23.3 cm \*12点1組  
個展「今井祝雄ータイム・コレクション」(キタノサ  
ーカス・フォトイン／兵庫、1982.2)

16  
《F氏との1時間》  
1979年  
ゼラチンシルバー・プリント  
19.2×26.0 cm  
個展「Retrospectiveー方形の時間」(アートコート  
ギャラリー/大阪、2016.3)

17  
《時間のポートレート》  
1979年  
ゼラチンシルバー・プリント  
各 53.0×43.1 cm \*8点1組  
個展「自写像による個展」(番画廊/大阪、1979.10)

18  
《時間の風景／阿倍野筋》  
1977年  
ゼラチンシルバー・プリント (一部彩色)  
各 41.8×53.0 cm \*6点1組  
「20年を迎えた京都アンデパンダンの方向展」  
(京都市美術館、1978.3)

19  
《ウォーキング・イベント／曲がり角の風景》  
1977年  
タイプCプリント、地図  
地図：72.7×54.0 cm  
写真：各 54.0×72.7 cm \*5点1組  
「京都アンデパンダン」(京都市美術館、1977.3)

20  
《ウォーキング・イベント／曲がり角の風景より》  
1977年  
写真、地図、資料  
各 74.4×56.2 cm \*7点1組  
「京都アンデパンダン」(京都市美術館、1977.3)

21  
《Red Light》  
1976-1977年  
タイプCプリント、ゼラチンシルバー・プリント  
(一部彩色)  
J~N：49.9×81.5 cm  
O, P：48.4×79.9 cm  
「風景'76」(アート・コア・ギャラリー／京都、  
1976.7)

22  
《視界／窓》  
1974年  
タイプCプリント、窓枠  
55.9×64.7 cm  
「イメージ'74」(ギャラリーオカベ／東京、  
1974.7)

23  
《映像による素描—A2》  
1974年  
ブループリント、インク、トレーシングペーパー  
各 42.3×59.4 cm \*8点1組  
「いま、PRINTING のなかで……」  
(ギャラリー・シグナム／京都、1974.3)

24  
《素描／映像》  
1973年  
インク、紙  
79.0×109.5 cm  
「第6回現代の造形〈映像表現'73〉—写真・フィルム・ビデオ」(京都市美術館、1973.9)

25  
《漂流／白いシルエット》  
1968-2023年  
ゼラチンシルバー・プリント  
各 34.0×34.0 cm \*8点1組  
本展初公開

26  
《位置の検証》  
1973年  
ゼラチンシルバー・プリント  
A-2：27.2×37.4 cm  
E-2：39.8×25.7 cm  
「7/365×11=展 (今日の方法)」(京都市美術館、1973.10)

27  
《前へ／フィルム》  
1973年  
ゼラチンシルバー・プリント  
63.0×43.9 cm 14カット  
個展「角度・位置・距離—写真による」(ギャラリー・シグナム／京都、1973.8)

28  
《後へ》  
1973年  
ゼラチンシルバー・プリント  
34.6×32.0 cm 14カット  
個展「角度・位置・距離—写真による」(ギャラリー・シグナム／京都、1973.8)

29  
《15時の光》  
1972年  
ゼラチンシルバー・プリント  
102.7×72.6 cm  
「1972年8月10日 A.M.9:30-P.M.7:00 中の島中央公会堂展」(大阪市中心公会堂、1972.8)

30  
《SQUARE—glass/grass》  
1970 / 2013年  
ゼラチンシルバー・プリント、タイプCプリント  
各 35.8×53.0 cm \*9点1組  
「TOKYO PHOTO 2013」(増上寺／東京、2013.9)

### Ⅲ しろからはじまる：1960-70年代

31  
《絵画または余白A》  
1971年  
メディウム、キャンバス  
46.0×53.5 cm  
「具体美術小品展」(グタイミニピナコテカ／大阪、1971.12)  
個人蔵

32  
《絵画または余白B》  
1971年  
メディウム、キャンバス  
45.5×53.2 cm  
「具体美術小品展」(グタイミニピナコテカ／大阪、1971.12)  
個人蔵

33  
《円》  
1967年  
モノクロ、サウンド  
\*16ミリフィルム、4分3秒  
サイズ可変  
「第1回草月実験映画祭」(草月会館ホール／東京、1967.11)

34  
《白のセレモニー・90度》  
1967 / 2013年  
アクリル絵具、プラスチック型、綿布  
90.0×180.0 cm  
個展「Perspective in White」(ギャラリー・リチャード／アメリカ、2014.2)

35  
《白のイベント×映像》  
1966 / 2016年  
モーター、ラバー、木、映像  
104.0×184.0×58.3 cm  
「空間から環境へ」(松屋百貨店／東京、1966.11)  
\*本作は縮小再現

36  
《白のイベント×映像 (図面)》  
1966年  
ゼラチンシルバー・プリント、図面  
36.0×26.4 cm  
個展「白のイベント×映像・1966-2016」(ユミコチバアソシエイツ／東京、2016.3)

37  
《白のセレモニーHOLES 3》  
1966年  
アクリル絵具、プラスチック型、綿布  
178.0×260.0 cm  
個展 (グタイピナコテカ／大阪、1966.7)  
芦屋市立美術博物館蔵

38  
《白のイベント I》  
1965年  
モーター、ラバー、木  
100.0×100.0×108.0 cm  
「第16回具体美術展」(京王百貨店／東京、1965.10)  
芦屋市立美術博物館蔵

39  
《白のイベント II》  
1965年  
モーター、ラバー、木  
100.0×100.0×108.0 cm  
「第16回具体美術展」(京王百貨店／東京、1965.10)  
芦屋市立美術博物館蔵

40  
《作品》  
1965年  
アクリル絵具、ミクストメディア、綿布  
179.5×137.5 cm  
「第15回具体美術展」(グタイピナコテカ／大阪、1965.7)  
芦屋市立美術博物館蔵

41  
《作品一点と円》  
1964 / 2012年  
アクリル絵具、金型、釘、綿布  
25.5×25.5 cm  
個展「17才の証言」(ヌーヌ画廊／大阪、1964.2)

42  
《作品一点と線》  
1964 / 2012年  
アクリル絵具、プラスチック型、釘、綿布  
25.5×25.5 cm  
個展「17才の証言」(ヌーヌ画廊／大阪、1964.2)

43  
《無題—C》  
1963年  
墨、紙  
35.5×25.0 cm  
「象る、象られる。」(ユミコチバアソシエイツ／東京、2018.3)

44  
《無題—D》  
1963年  
墨、紙  
35.5×25.0 cm  
「象る、象られる。」(ユミコチバアソシエイツ／東京、2018.3)

---

特別展「今井祝雄 — 長い未来をひきつれて」

2024年9月14日(土)–11月17日(日)

主 催：芦屋市立美術博物館  
後 援：兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社、Kiss FM KOBE  
協 力：藤本由紀夫、林勇氣  
ARTCOURT Gallery、Yumiko Chiba Associates